KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

U363

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

© GET0695-001A (JW/J0)

目次

本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。
そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
近傍に具体的な内容が描かれています。

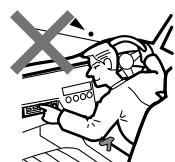
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

⚠警告

実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
  - カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）

⚠警告

警告

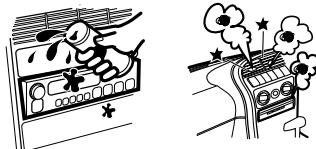
● 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

● USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
● 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。
  • 音が出ない
  • ディスプレイが表示されない
  • 異物が入った
  • 水がかかった
  • 煙が出る
  • 変な匂いがする

● 修理は必ずお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁止

● 本機の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

注意

● ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁止

● 本機内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
● 本機は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
● 本機に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実施

● 本機の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英大文字と数字のみです。

使用できるリモコンについて

本機は、リモコンが使用できます。使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。
また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送、交通情報以外に切り替えてください。

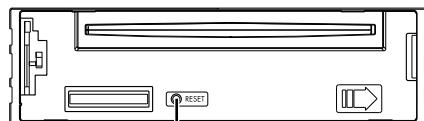
温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときは本機の**リセットボタン**（P.6）を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

異常にお気づきのときは(リセットする)

本機の異常にお気づきのときは、**「故障かな?と思ったら」**（P.30）を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、**「操作パネルの脱着」**（P.23）を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

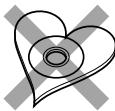
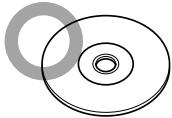
- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもINインジケーターの点滅が続く。

お気をつけください

●USB機器、iPod/iPhoneを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPod/iPhoneが変形や故障する場合があります。

●以下のディスクは使用しないでください。

特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。

8cmCDディスク

8cmのディスクは使用できません。アダプターも使用できません。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーを参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

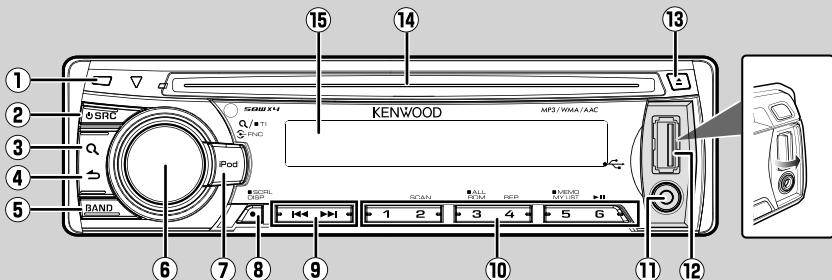
●ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

●本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。

●新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

●音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。

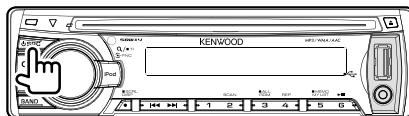
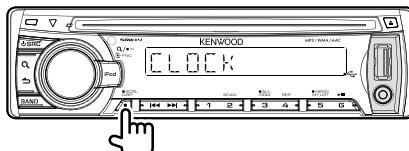
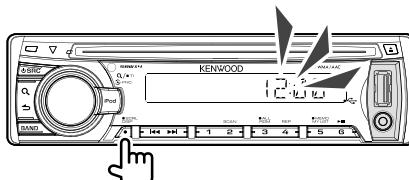
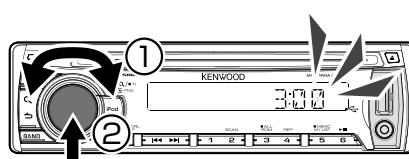
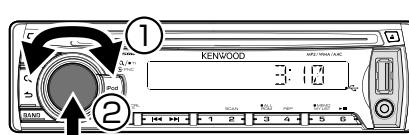
各部の名前とはたらき

本機の各部の名前とおもな働きについて説明します。

番号	名前/本書での表記	動作
①	リリースボタン	押すと、操作パネルが取り外せます。(P.23)
②	ソースボタン ⏻SRC	• 本機の電源をオンします。1秒以上押すと、本機の電源をオフします。(P.10) • ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.10)
③	サーチボタン 🔍	• CDやオーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.17, P.18) • 1秒以上押すと、交通情報を受信します。(P.10)
④	リターンボタン ⮌	• 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。(P.24, P.26, P.28) • オーディオファイル選択時は、一つ上のフォルダに戻ります。(P.17) • 1秒以上押すと、設定状態またはオーディオファイル選択状態を解除します。
⑤	バンドボタン BAND	• ラジオ受信時に、バンドを選択します。(P.11, P.20) • オーディオファイル再生時に、次のフォルダに進めます。押し続けると、連続して次のフォルダに進めます。
⑥	ボリュームノブ	• 左右に回して、音量を調節します。(P.10) • 押して設定モードに入り、左右に回して項目を選択します。最後に押してその項目の設定を確定します。(P.24, P.26, P.28) • CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを確定します。(P.17)
⑦	iPodボタン iPod	• iPod/iPhone接続中はボタンを押すごとに、本機からのみ操作できるHANDS OFFモードと、iPod/iPhoneから操作できるHANDS ONモードの2つのモードを切り替えます。(P.13) • iPod以外の音源のときに押すと音源をiPodに切り替えます。
⑧	ディスプレイボタン DISP ■ SCRL	• 時計や、再生中の音源の情報を表示します。(P.15, P.20) • タイトル表示中に1秒以上押すと、再生中の曲タイトルなどをスクロールします。時計表示中は、2秒以上押すと時計調整モードに切り替わります。
⑨	シークボタン ⏮ ⏭	• ラジオの周波数を切り替えます。(P.10, P.20) • ⏮ を1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、1つ前の曲を再生します。 • ⏭ を押すと、1つ後の曲を再生します。 • 押し続けると、早戻し／早送りします。
⑩	数字ボタン 1 ～ 6	• ラジオでは、よく聴く放送局を登録しておくことができます。(P.21, P.22) • CDやオーディオファイルの再生中は、リピート再生など、再生方法を変更します。(P.16)

番号	名前/本書での表記	動作
⑪	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.11)
⑫	USB端子	USB機器/iPod/iPhoneを接続します。(P.12)
⑬	イジェクトボタン [▲]	ディスクを取り出します。ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。
⑭	ディスク挿入口	ディスクのタイトル面を上にして差し込みます。(P.11)
⑮	ディスプレイ	時計や再生中の曲タイトルなど、本機の動作内容を表示します。

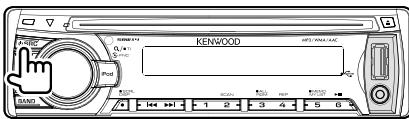
時計を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。時計は12時間制で表示されます。

1 [⏻SRC] を押す
電源がオンになります。

2 ディスプレイに [CLOCK] と表示されるまで、[DISP ■ SCRL] を数回押す

3 「時」の表示が点滅するまで、[DISP ■ SCRL] を2秒以上押す

4 ① ボリュームノブを回して「時」を調整し、
② ボリュームノブを押す

5 ① ボリュームノブを回して「分」を調整し、
② ボリュームノブを押す
時計が調整されました。

共通の操作を覚えよう

電源の入れ方や音源の切り替えなど共通の操作について説明します。

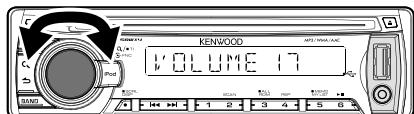
電源を入れてみよう

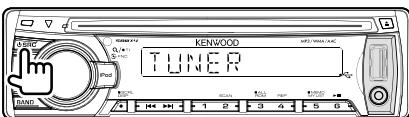
1 [⏻SRC] を押す

本機の電源がオンになります。

[⏻SRC] を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

音量を調整しよう

1 オーディオ再生中にボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

音源を切り替えよう

1 聴きたい音源が表示されるまで [⏻SRC] を数回押す

ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

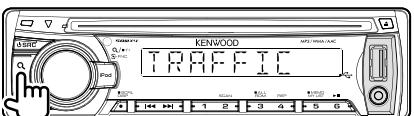
- STANDBY ：何も再生していない状態
- TUNER ：ラジオ
- USB ：USB機器
- iPod ：iPod, iPhone
- CD ：ディスク
- AUX ：外部機器

MEMO

- CD（ディスク）はディスクが挿入されていないと選択できません。

交通情報を聴いてみよう

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

1 [🔍] を1秒以上押す

交通情報が受信されます。

もう一度 [🔍] を押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

こんなときは…

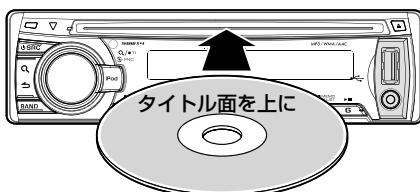
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい
  → [▶▶I] または [I◀◀] を押して522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

お好みの音源を聴いてみよう

本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ディスクを聴くには

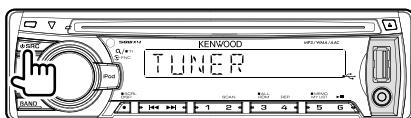
1 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。

こんなときは…

- 再生方法を変えたい → P.16
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.14
- ディスクを取り出したい → ⏏ を押す

ラジオを聴くには

1 ディスプレイに TUNER と表示されるまで、⏻SRC を数回押す

ラジオが受信されます。

こんなときは…

- バンドを変えたい → BAND を押す
- 登録した放送局を呼び出す → P.21, P22

外部機器を聴くには

接続には別売のφ3.5mmステレオミニプラグコード「CA-08MP」が必要です。

1 カバーを横に開き、AUX端子にプラグを差し込む

2 プラグを外部機器のヘッドホン端子に接続する

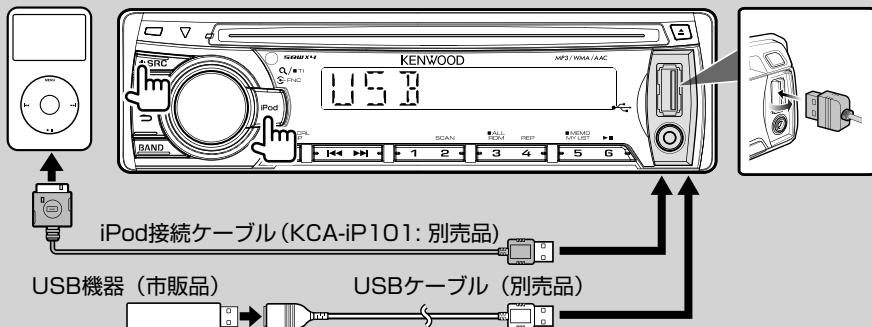
3 ディスプレイに AUX と表示されるまで、⏻SRC を数回押す

4 外部機器を再生する

外部機器が本機から再生されます。

こんなときは…

- すでに接続されている外部機器を聴きたい → ディスプレイに AUX と表示されるまで ⏻SRC を数回押し、外部機器を再生する。

お好みの音源を聴いてみよう

USB機器を聴くには

接続には別売のUSBケーブル（推奨品「CA-U1EX」）が必要です。

■USB機器を接続する

1 カバーを横に開き、USB機器を接続する。

USB機器内のオーディオファイルが再生されます。

こんなときは…

- 再生方法を変えたい→ P.16
- すでに接続されているUSB機器を聴きたい → ディスプレイに USB と表示されるまで SRC を数回押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい→ P.14

■USB機器を取り外す

1 SRC を押して音源を USB 以外にする

2 USB機器を取り外す

MEMO

- USBケーブルを使わずに直接接続すると、USB機器が突起物となり危険です。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）

iPod/iPhoneを聴くには

接続には別売のiPod接続ケーブル「KCA-iP101」が必要です。

■iPod/iPhoneを接続する

1 カバーを横に開き、iPod/iPhoneを接続する。

iPod/iPhone内のオーディオファイルが再生されます。

こんなときは…

- 再生方法を変えたい→ P.16
- すでに接続されているiPod/iPhoneを聴きたい → ディスプレイに iPod と表示されるまで SRC を数回押す。
- iPod/iPhone内のリストで曲を選びたい→ P.17

■iPod/iPhoneを取り外す

1 SRC を押して音源を iPod 以外にする

2 iPod/iPhoneを取り外す

MEMO

- iPod/iPhone接続中は、iPod/iPhoneが充電されます。（本機の電源オン時のみ）

まずはここから覚えてください

iPod/iPhoneの接続について

iPod/iPhone接続中は、本機からのみ操作できるHANDS OFFモードと、iPod/iPhoneから操作できるHANDS ONモードのいずれかで操作します。音源がiPodのときに、iPod を押すごとに、2つのモードが切り替わります。

iPod/iPhoneについて

別売のiPod接続ケーブル「KCA-iP101」で接続します。音源選択の USB 表示はiPod/iPhoneを認識後に iPod となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは「KCA-iP101」で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPod/iPhoneは以下のとおりです。

Made for
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

MEMO
- iPod/iPhoneを接続すると、本機での再生はiPod/iPhoneで再生していた曲から始まります。
- iPod/iPhoneに“アクセサリが接続中”または“KENWOOD”と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- 最新の適合情報に関しては、**www.kenwood.com/cs/ce/ipod/**をご覧ください。

KENWOOD Music Editorについて

KENWOOD Music Editorとは、USB機器に入っている曲の選択操作を便利にするためのPCアプリケーションです。
本機は、“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”に対応しています。
“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。
“KENWOOD Music Editor Light ver 1.1”は、**www.kenwood.co.jp/faq/**からダウンロードできます。アプリケーションの詳しい情報は、サイトまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイル、デバイスの種類は、下記の通りです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
USB機器	USBマスストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT16、FAT32
iPod/iPhone	「iPod/iPhoneについて」(P.13)をご覧ください

(2010年9月現在)

● **AAC(エーエーシー)**

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

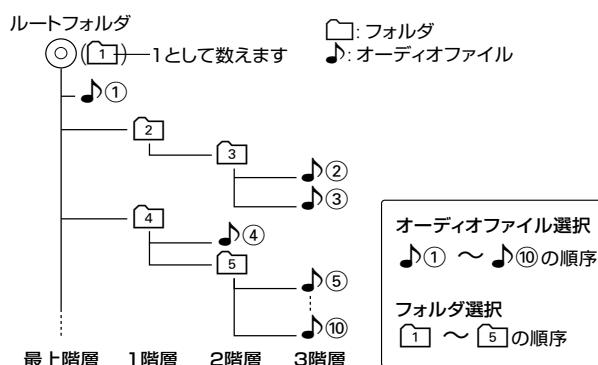
● **MP3(エムピースリー)**

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

● **WMA(Windows Media™ Audio)**

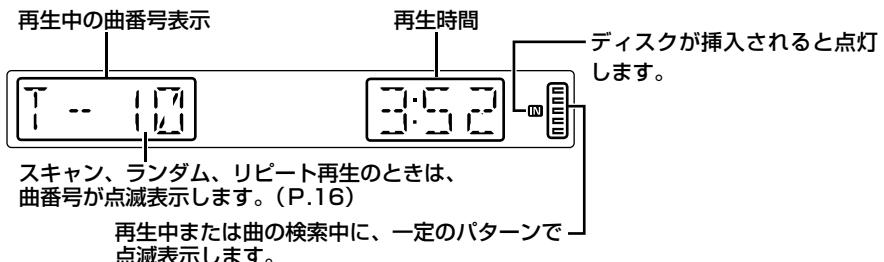
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

オーディオファイルの階層と再生順序

下図の例では、オーディオファイルが①から⑩の順で再生されます。

MEMO

- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよびデバイスの種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- フォルダの中にオーディオファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/cs/ce/audiofileで公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。
- USBハブやマルチカードリーダを介してUSB機器を認識させることはできません。

再生中の画面表示

CD・オーディオファイル/iPod/iPhone再生中の画面表示について説明します。

MEMO

- メディアによっては、再生中の曲タイトルやフォルダ名などが表示される場合があります。
- DISP■SCRL を押すごとに、画面表示が以下のように切り替わります。表示内容は再生中のメディアによって異なります。

  CD：

  ディスク名(DISC TITLE)→トラック名(TRACK TITLE)→曲番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

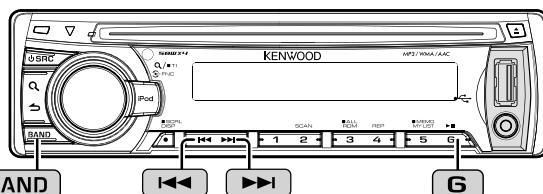
  オーディオファイル/iPod/iPhone：

  曲名とアーティスト名(TITLE)→アルバム名とアーティスト名(ALBUM)→フォルダ名(FOLDER NAME)→ファイル名(FILE NAME)→ファイル番号と再生時間(P-TIME)→時計(CLOCK)

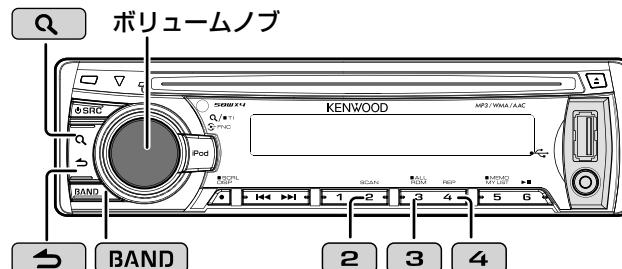
  外部機器再生／ STANDBY（何の音源も選択していない状態）：

  音源名(SOURCE NAME)←→時計(CLOCK)

再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。
曲の検索などに使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

動作	操作
一時停止する	G を押す
一時停止から再生する	G を押す
早送りする	⏭ を押し続ける
早戻しする	⏮ を押し続ける

動作	操作
曲の先頭に戻る	⏮ を押す
次の曲を聴く	⏭ を押す
次のフォルダに進む	BAND を押す
前の曲を聴く	⏮ を2回押す

いろいろな機能を使って再生しよう

聴きたい曲を探す（スキャン再生）

曲の始めから10秒間ずつ再生します。
聴きたい曲を探すときに便利です。

1 [2] を押す
スキャン再生が始まります。

2 聴きたい曲の再生中に [2] を押す
選んだ曲から、再生します。

MEMO
- iPod/iPhone再生中は、この操作はできません。
- すべての曲がスキャン再生されると、スキャン再生を解除します。

いつもと違う曲順で聴く（ランダム再生）

再生する曲を順不同で選び再生します。

1 [3] を押す
ランダム再生が始まります。CDやフォルダー内の曲を再生します。

♪ こんなときは…
- オーディオファイル/iPod/iPhoneを全曲を順不同に再生したい
→ ALL RANDOM と表示されるまで、[3] を1秒以上押す。
- ランダム再生を中止する
→ [3] を押す。

MEMO
- iPod/iPhoneの再生中は曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。

同じ曲を繰り返し聴く（リピート再生）

再生中の曲を繰り返し再生します。

1 [4] を押す
現在再生中の曲のリピート再生が始まります。

♪ こんなときは…
- オーディオファイル再生中に、そのフォルダ全体をリピートする
→ FOLD REPEAT と表示されるまで、[4] を数回押す。
- リピート再生を中止する
→ REPEAT OFF と表示されるまで、[4] を数回押す。

MEMO
- iPod/iPhone再生中は、現在再生中の曲のみをリピート再生します。リピート再生をOFFにすると、選択したリスト内の全曲をリピート再生します。

聴きたい曲を名前で探す（ミュージックサーチ）

聴きたい曲を名前で探して選曲します。

を押す

2 聴きたい曲を選ぶ

・CDの場合

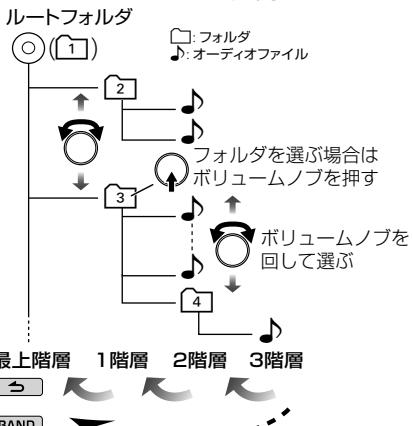
動作	操作
トラックを選ぶ	ボリュームノブを回す。
ディスクの最小トラックを選ぶ	BAND を押す。

・オーディオファイルの場合

動作	操作
フォルダ、ファイルを選ぶ	ボリュームノブを回す。フォルダを選ぶ場合は続けてボリュームノブを押す。
一つ上のフォルダを選ぶ	⮌ を押す。
ルートフォルダ（最上階層）を選ぶ	BAND を押す。

・iPod/iPhoneの場合

動作	操作
リストを切り替える	ボリュームノブを回す。リストを選ぶ場合は続けてボリュームノブを押す。
一つ前のリストを選ぶ	⮌ を押す。
トップメニューを選ぶ	BAND を押す。

オーディオファイル選択例

3 ボリュームノブを押す

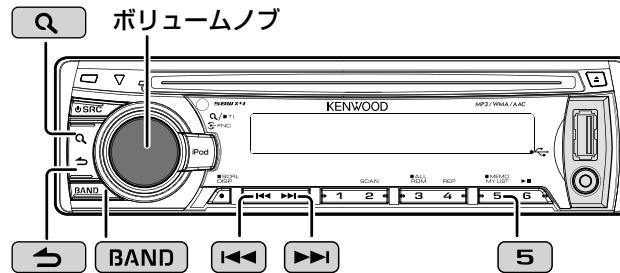
選んだ曲を再生します。

こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
  → ⮌ を1秒以上押す。

MEMO

- ファイル名、フォルダ名は以下のように表示されます。
  "<○○○"：ファイル名表示
  "<○○○>"：フォルダ名表示
- iPodの場合、曲名などで表示できない文字は" "（空白）となります。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

項目	表示
プレイリスト	"PLIST***"
アーティスト	"ART***"
アルバム	"ALB***"
曲名やファイル名	"PRGM***"
ポッドキャスト	"PDCT***"
ジャンル	"GEN***"
コンポーザー（作曲者）	"COM***"

すばやくスクロールして探す（スキップサーチ）

iPodのリスト項目の曲数やリスト数に応じて、すばやくスクロールして曲やリストを検索します。KENWOOD Music Editor Light ver 1.0 **(P.13)**でデータベースを付加している場合は、USB機器内のオーディオファイルでも同様の操作ができます。

1 [Q] を押す

2 [BAND]を押してiPod/iPoneのトップメニューを選ぶ

3 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す

4 [▶▶I] を押して聴きたい曲、リストを探す

♪ こんなときは…

- 前の曲、リストを探す→ [I◀◀] を押す。

5 ボリュームノブを押す

選んだ曲が再生されます。

リストのときはリストが選ばれます。

MEMO

- スキップする割合は、「SKIP SEARCH」設定 **(P.27)** で変えられます。
- [▶▶I] を3秒以上押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲やリストをスキップします。例えば選択したリスト内の曲数が100曲の場合、10曲ずつスキップします。

文字を入力して曲を探す（iPod/iPhoneのみ）

先頭の文字を1 ～ 3文字入力して、iPodのリストから該当するタイトルを探します。

1 [Q] を押す

2 [BAND]を押してiPod/iPoneのトップメニューを選ぶ

3 ボリュームノブを回してリストを選び、ボリュームノブを押す

4 [Q] を押す

5 ボリュームノブを回して文字を選ぶ

6 [▶▶I] を押してカーソルを移動する

手順5 ～ 6を繰り返して、3文字まで入力できます。

7 ボリュームノブを押す

検索を開始します。

検索が完了すると、入力した文字に該当するタイトルが表示されます。

8 ボリュームノブを押す

選んだ曲が再生されます。アルバムやアーティストを検索した場合は、リストを選択します。

♪こんなときは…

- 一つ前の文字に戻る→ [⏮] を押す。
- 検索を中止する→ [↩] を1秒以上押す。

MEMO

- 入力できる文字は、A ~ Z、0 ~ 9、＊です。A ~ Z、または0 ~ 9以外の文字で始まる曲を検索したいときは「＊」を1文字目に入力します。「＊」を入力すると、2 ~ 3文字目は入力できません。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

MY PLAYLISTを利用する（iPodのみ）

お好みの曲をMY PLAYLISTに登録して再生することができます。登録できる曲数は最大10曲です。

MEMO

- この機能が利用できるiPodの情報は、www.kenwood.com/cs/ce/ipod/をご覧ください。

■MY PLAYLISTに登録する

1 iPodを再生中に [5] を2秒以上押す

再生中の曲がMY PLAYLISTに登録されます。

MEMO

- 1台のiPodに入っている曲からMY PLAYLISTを作成します。
- ミュージックサーチ（P.17）中に表示されている曲も、同様の操作で登録することができます。
- Podcastsは登録しないでください。意図していない曲が登録されてしまうなど、正しく登録・再生できない場合があります。
- 同じ曲を複数登録することもできます。
- MY PLAYLISTへの登録は、追加登録のみ可能です。リストの途中に登録することはできません。

■MY PLAYLISTを再生する

1 iPodの再生中に [5] を押す

MY PLAYLISTに登録した曲がリストアップされます。

2 ボリュームノブを回して聴きたい曲を選ぶ

3 ボリュームノブを押す

選んだ曲が再生されます。

MEMO

- リスト内の最終曲の再生が終了すると、1曲目の再生が始まります。
- ミュージックサーチを行うと、MY PLAYLISTモードは解除されます。
- ACCや電源をオフにする、または操作パネルを外すとMY PLAYLISTモードは解除されます。

■MY PLAYLISTから曲を削除する

1 MY PLAYLISTの曲をリスト表示中にボリュームノブを2秒以上押す

2 ボリュームノブを回して1曲削除か全曲削除かを選ぶ

MEMO

- [DELETE ONE] を選ぶとリスト表示で表示させた曲のみを削除します。
  [DELETE ALL] を選択するとMY PLAYLISTに登録されている曲をすべて削除します。

3 ボリュームノブを押す

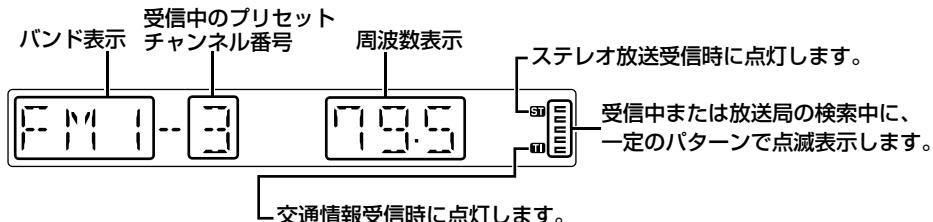
4 ボリュームノブを回して [YES] を選び、ボリュームノブを押す

MY PLAYLISTから曲が削除されます。

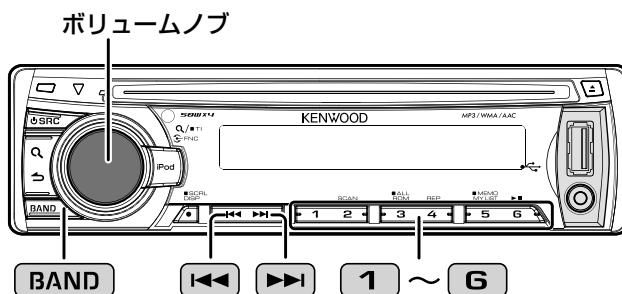
MEMO

- MY PLAYLISTの全曲削除は、iPodの設定の“MPLIST DEL”からも行えます。（P.27）
- 登録したiPodとは異なるiPodを接続して登録操作をすると、[MPLIST DEL] と表示されますので、ボリュームノブを押します。この後、[YES] を選ぶと、MY PLAYLISTが削除されます。

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。

MEMO

- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは“MONO SET”(P.27)をご覧ください。
- DISP ■ SCRL を押すごとに、画面表示が以下のように切り替わります。
  周波数表示(FREQUENCY)←→時計(CLOCK)

いろいろな機能を使って選局しよう

聴きたい放送局を自動で探す

1 BAND を押して聴きたいバンドを受信する

押すたびに、FM1→FM2→AM1→AM2→FM1→…の順に切り替わります。

2 ▶▶| または |◀◀ を押す

受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪ こんなときは…

- 自動受信を中止する → ▶▶| または |◀◀ を押す。
- 手動で周波数を合わせたい
  → P.27を参照して“SEEK MODE”を“MANUAL”に設定し、▶▶| または |◀◀ を押して周波数を合わせる。

放送局を自動登録する（オートメモリー）

1 ボリュームノブを押す

2 ボリュームノブを回して SETTINGS と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して AUTO MEMORY と表示させ、ボリュームノブを押す

4 ボリュームノブを回して YES を選び、ボリュームノブを押す

受信状態の良い放送局が、数字ボタンに自動的に最大で6局分登録されます。

MEMO

- バンドごとに、６局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

放送局を一つずつ登録する（手動登録）

1 お好みの放送局を受信する

2 いずれかの数字ボタン 1 ～ 6 をプリセットチャンネル番号が点滅するまで2秒以上押す

受信している放送局が選んだボタンに登録されます。

登録した放送局を呼び出す

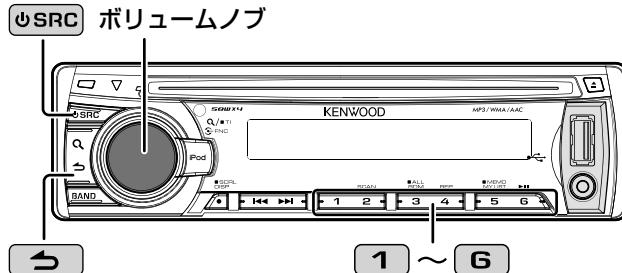
1 BAND を押して聴きたいバンドを受信する

2 聴きたい放送局の登録されている数字ボタン 1 ～ 6 を押す

登録されている放送局を受信します。

♪こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
  → P.27を参照して“SEEK MODE”を“AUTO2”に設定すると、►►I を押すごとに順に受信します。

ラジオを聴く

お気に入りの放送局を登録してワンタッチで呼び出す(Mixed Preset Memory)

バンドを切り替えることなくAM/FM両方の放送局の登録、呼び出しができます。

■初期設定を変更する

1. ディスプレイに STANDBY と表示されるまで、 SRC を数回押す
2. ボリュームノブを押す
   ディスプレイに FUNCTION と表示された後、SETTINGS と表示されます。
3. ボリュームノブを回して INITIAL SET と表示させ、ボリュームノブを押す
4. ボリュームノブを回して PRESET TYPE と表示させ、ボリュームノブを押す
5. ボリュームノブを回して MIX と表示させ、ボリュームノブを押す
6. ⮌ を1秒以上押す

■放送局を登録する

1. ディスプレイに TUNER と表示されるまで、 SRC を数回押す
2. 登録したい放送局を受信する
3. いずれかの数字ボタン 1 ～ 6 を MEMORY と表示されるまで2秒以上押す
   受信している放送局が選んだボタンに登録されます。

■登録した放送局を呼び出す

1. ラジオを受信する
   バンドは選択不要です。
2. 聴きたい放送局が登録されている数字ボタン 1 ～ 6 を押す
   登録されている放送局を受信します。

♪ こんなときは…

- 数字ボタンを、手動登録またはオートメモリーの放送局の登録ボタンに戻したい
  → “PRESET TYPE” を “NORM” に設定する。(P.29)

MEMO

- “PRESET TYPE” (P.29) が “MIX” に設定されているときは、オートメモリーはできません。

本機を盗難から守るために

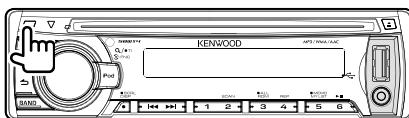
操作パネルの脱着

本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。お車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯していただくことをおすすめします。

■操作パネルを取り外す

1 [⏻SRC] を1秒以上押して、電源をオフにする

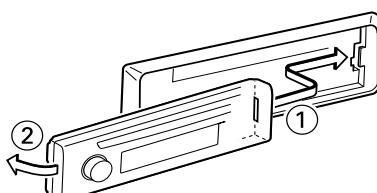
2 リリースボタンを押す

パネルのロックが解除されます。パネルを上にずらしてからパネルを取り外します。

MEMO

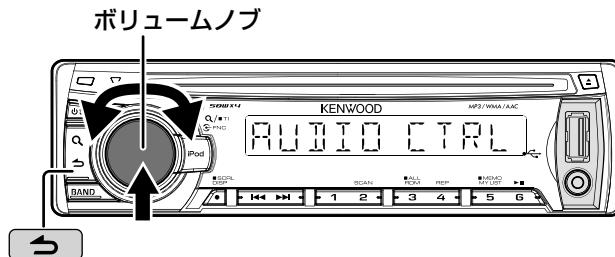
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所

■操作パネルを取り付ける

1 パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせる

2 パネルの左側を本体に合わせて押す

パネルがロックされ、本機が使用できるようになります。

お好みの音質に調整しよう

音響効果などを設定します。

1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す

ディスプレイに FUNCTION と表示された後、AUDIO CTRL と表示されます。

2 もう一度ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- DETAIL SET を選んだ場合は、ボリュームノブを回してさらに詳細な設定項目を選びます。
- 設定操作中に、⮌ を押すと1つ前の項目に戻ります。

表示	設定内容	設定値
SUB-W LEVEL※1	サブウーファーの音量を調整します。	－15～**0**～+15
BASS BOOST	低音を増強します。	OFF/**LV1**/ LV2
dB EQ	音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選択します。BASS、MID、TRE LEVELを調整すると「USER」設定になります。	ROCK/VOCAL/EASY/DANCE/JAZZ/GAME/**NATURAL**/USER
BASS LEVEL	低音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の5つのバーで示されます。	−8～**0**～+8
MID LEVEL	中音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の5つのバーで示されます。	−8～**0**～+8
TRE LEVEL	高音域の音量を調整します。調整値が、ディスプレイ右端の5つのバーで示されます。	−8～**0**～+8

表示		設定内容	設定値
BALANCE		左右の音量バランスを調整します。調整値が、ディスプレイ右端の5つのバーで示されます。	L15 ～ **0** ～ R15
FADER		前後の音量バランスを調整します。調整値が、ディスプレイ右端の5つのバーで示されます。	F15 ～ **0** ～ R15
SUB-W SET※2		サブウーファー出力のON/OFFを切り替えます。	**ON**/OFF
DETAIL SET	LPF SUB-W※1	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	85HZ/120HZ/160HZ/**THROUGH**
	SUB-W PHASE※1 ※3	サブウーファーの位相を設定します。 NORM：正相（0°）/REV：逆相（180°）	**NORM**/REV
	SUPREME SET	Supreme機能のON/OFFを設定します。圧縮オーディオファイル再生時のみ設定できます。	**ON**/OFF
	NAV GUIDE	接続されているナビの音声ガイド時のミュート設定をします。 ATT：ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。	**OFF**/ATT
	VOL OFFSET	音源ごとの音量差を調整します。 音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	AUX：−8～**0**～+8 その他：−8 ～ **0**

※1 “SWITCH PRE”（Switchable Preout）設定 **(P.29)** が“SUB-W”（サブウーファー）に設定され、かつ“SUB-W SET”（Subwoofer SET）設定 **(P.25)** が“ON”に設定されているときに設定できます。
※2 “SWITCH PRE”（Switchable Preout）設定 **(P.29)** が“SUB-W”（サブウーファー）に設定されているときに設定できます。
※3 “LPF SUB-W”（LPF Subwoofer Setting）設定 **(P.25)** が“THROUGH”以外のときに設定できます。

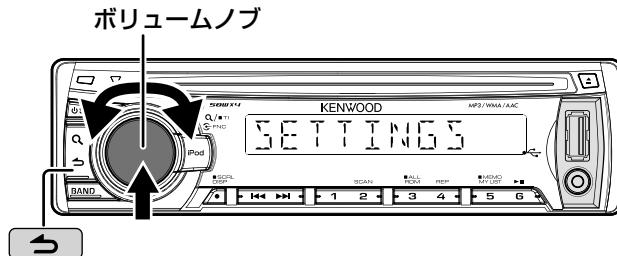
4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 を1秒以上押して終了する

MEMO

- Supreme機能とは、低いビットレート（128Kbps以下、サンプリング周波数は44.1kHz）でエンコードしたときに欠落した高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補間する技術です。補間は圧縮フォーマット別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が表れにくい場合があります。
- 「NAV GUIDE」機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。ケンウッド製カーナビゲーションに接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」または「オーディオ接続設定」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。

1 設定を変更する音源を再生中に、ボリュームノブを押す

ディスプレイに FUNCTION と表示された後、AUDIO CTRL と表示されます。

2 ボリュームノブを回して SETTINGS と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- DISPLAY を選んだ場合は、ボリュームノブを回してさらに詳細な設定項目を選びます。
- 設定操作中に、 ⮌ を押すと1つ前の項目に戻ります。

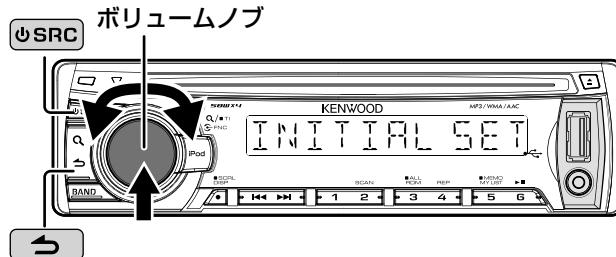
音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	SEEK MODE	放送局の探しかたを設定します。 AUTO1：放送局を自動的に受信します。 AUTO2：登録されている放送局を順番に受信します。 MANUAL：1ステップずつ周波数が変わります。	**AUTO1**/ AUTO2/ MANUAL
	AUTO MEMORY	設定をYESにすると受信状態の良い放送局を自動的に登録します。“PRESET TYPE”（PRESETキー機能切り替え）設定 **(P.29)** が“NORM”（NORMAL）に設定されているときに設定できます。	YES/NO
	MONO SET	FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定をONにすると、雑音が軽減されて聴きやすくなることがあります。	ON/**OFF**
iPod	SKIP SEARCH※1	曲やリストを探すときのスキップする割合を設定します。**(P.18)**	**0.5%**/1%/ 5%/10%
	MPLIST DEL	MY PLAYLISTのリストを削除します。**(P.19)**	YES/NO
USB	SKIP SEARCH※1	Music Editorでデータを付加している場合に、曲やリストを探すときのスキップする割合を設定します。**(P.18)**	**0.5%**/1%/ 5%/10%
AUX	AUX NAME	ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	**AUX**/DVD/ PORTABLE/ GAME/VIDEO/ TV
すべての音源	CLOCK　CLOCK ADJ	本機の時計を合わせます。**(P.9)**	－
	DISPLAY　DIMMER SET	ディスプレイの明るさを設定します。 “ON”にすると暗くなります。	ON/**OFF**
	DISPLAY　TEXT SCROLL	ディスプレイに表示される文字が多い場合、文字をスクロールして表示させます。 AUTO：スクロールを繰り返し行います。 ONCE：表示が変わったときに1回スクロールします。 OFF：自動ではスクロール表示をしません。	**AUTO**/ ONCE/ OFF

※1　スキップする曲数、リスト数は選択しているリスト内の総数で決まります。10%に設定するとスキップする曲数、リスト数が多くなるので、後の方の曲、リストをすばやく探すことができます。

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 [⮌] を1秒以上押して終了する

初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。

1 SRC を数回押して STANDBY と表示させ、ボリュームノブを押す

ディスプレイに FUNCTION と表示された後、SETTINGS と表示されます。

2 ボリュームノブを回して INITIAL SET と表示させ、ボリュームノブを押す

3 ボリュームノブを回して設定する項目を選び、ボリュームノブを押す

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- 設定操作中に、戻る ボタン を押すと1つ前の項目に戻ります。

表示	設定内容	設定値
PRESET TYPE	登録した放送局を呼び出すボタンを設定します。 NORM（NORMAL）：通常の放送局の登録ボタンになります。 MIX（Mixed Preset Memory）：AM/FMの区別なく登録された放送局の登録ボタンになります。	**NORM**/ MIX
KEY BEEP	操作時のビープ音を設定します。	**ON**/OFF
BUILTIN AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON1：AUX音源に切り替えたときに、内蔵AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。常に外部機器を内蔵AUX端子に接続しているときはこの設定にします。 ON2：AUX音源で電源をオンにしたときに、アッテネーター機能が働きます。外部機器の音声を聴くときは、ボリュームノブを右に回してアッテネーター機能を解除します。この設定にすると、外部機器を内蔵AUX端子に接続していないときに出る雑音を防ぎます。 OFF：内蔵AUX端子を使用しないときに選択します。	**ON1**/ ON2/ OFF
CD READ	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1：通常はこちらでご使用ください。 2：音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	**1**/2
SWITCH PRE	プリアウトをリア用出力（REAR）、またはサブウーファー用出力（SUB-W）に切り替えます。	**REAR**/ SUB-W
SP SELECT	イコライザーカーブの値をスピーカーに合わせて微調整します。 STANDARD：標準的なスピーカーに合う設定です。 MIDDLE：低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定です。 WIDE：低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定です。 NARROW：周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定です。	**STANDARD**/ MIDDLE/ WIDE/ NARROW
F/W UP **.**	以下の手順でファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、**www.kenwood.co.jp/faq/**をご覧ください。 ①ボリュームノブを回して、 YES と表示させ、ボリュームノブを押すとアップデートファイルの検出が始まります。	YES/NO

4 ボリュームノブを回して設定値を選び、ボリュームノブを押す

5 [⮌] を1秒以上押して終了する

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	本機の**リセットボタン**(**P.6**)を押してください。
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
	アンテナコントロール電源が接続されていない。	**「配線をしましょう」**(**P.34**)を参照して、正しく接続し直してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	**「お気をつけください」**(**P.7**)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
オーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	**「お気をつけください」**(**P.7**)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
フォルダ検索をすると雑音が出る	オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。	オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。
音量が調整できない	ミュージックサーチモードになっています。	ミュージックサーチモードを終了してください。(**P.17**)

こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
COPY PRO	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。
MEMORY FULL	MY PLAYLISTに10曲以上登録しようとした。	MY PLAYLISTの曲を削除してから、追加してください。(**P.19**)
NA FILE	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。(**P.14**)
NO DISC	本機にディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
READ ERROR	接続しているUSB機器のファイルシステムが破損している。	USB機器のファイル、フォルダをコピーし直してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。

TOC ERROR	ディスクが異常に汚れています。	**「お気をつけください」（P.7）**を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないでください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。
以下の処置にしたがって対応してください。処置を施してもエラーメッセージが表示される場合は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

メッセージ	原因	処置
ERROR 99	何らかの原因で正常に動作していない。	イジェクトボタンを押してください。 それでも表示が消えないときは本機の**リセットボタン（P.6）**を押してください。
IN インジケーターが点滅	CDプレーヤーが正常に動作していない。	CDを一度取り出してから、再度挿入してください。それでも表示が消えないときは本機の**リセットボタン（P.6）**を押してください。
iPod ERROR	iPod/iPhoneとの接続に不具合が発生しています。	**「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.14）**を参照して、接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種かどうか確認してください。
		iPod/iPhoneをKCA-iP101から取り外し、接続し直してください。
		iPod/iPhoneのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。
NA DEVICE	サポートされていないUSB機器／iPod/iPhoneを接続した。	取り外しの操作をせず、そのまま取り外してください。サポートされているUSB機器/iPod/iPhoneについては、**「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.14）**を参照してください。
NO DEVICE	USB機器/iPod/iPhoneが接続されていないときに、音源をUSB/iPodに切り替えた。	取り外しの操作をせず、そのまま取り外してください。サポートされているUSB機器/iPod/iPhoneについては、**「本機で使えるメディアとオーディオファイル」（P.14）**を参照してください。
NO MUSIC/ ERROR 15	接続されているUSB機器/iPod/iPhoneには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	USB機器/iPod/iPhoneを取り外し、電源をオフにした後、再度オンにしてください。 それでも表示が消えない場合は、他のUSB機器/iPod/iPhoneをお使いください。
PROTECT	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機の**リセットボタン（P.6)**を押してください。
READING	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
USB ERROR	接続されているUSB機器/iPod/iPhoneに不具合が発生した可能性があります。	USB機器/iPod/iPhoneを取り外し、電源をオフにした後、再度オンにしてください。 それでも表示が消えない場合は、他のUSB機器/iPod/iPhoneをお使いください。

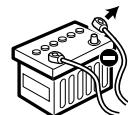
本機を取り付けるときは （必ずお読みください）

⚠警告

禁止

● 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本機はDC12V ⊖ アース車専用です。

実施

● 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

● 本機の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと､火災､その他の事故の原因となります。

● 本機を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと､製品内部を壊し､ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また､取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど､ケガの原因となります。

● 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

● バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

● 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

⚠警告

実施

● 本機の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

● 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

● コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

● 本機を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

● アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

● 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

注意

● 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

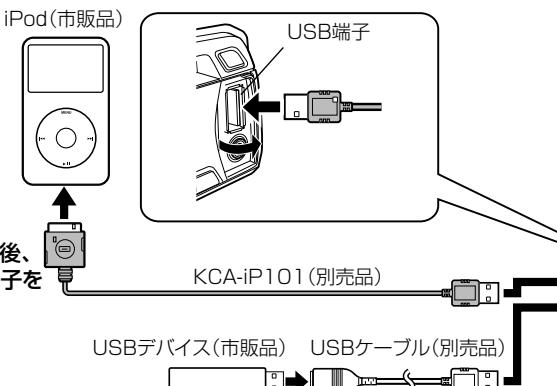
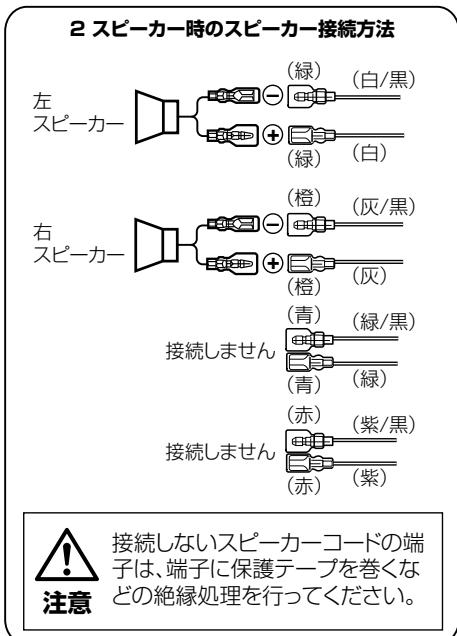
● 本機、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

● 本機は自動車のコンソールに設置してください。
本機の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

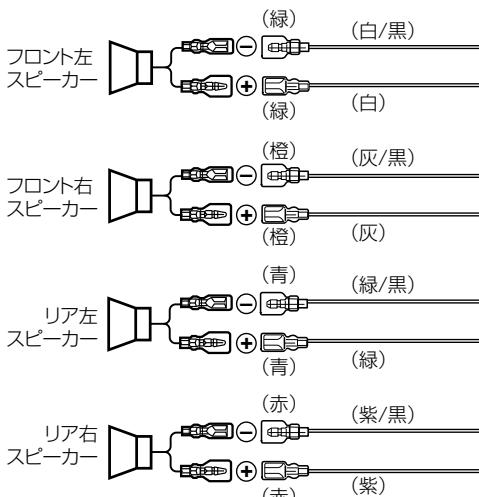
配線をしましょう

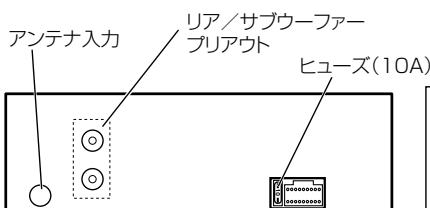
実施

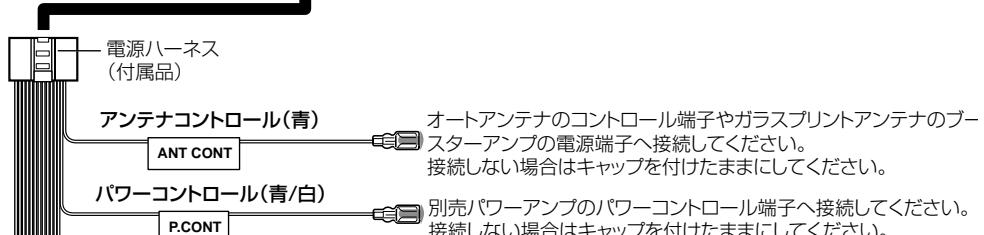
初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの㊀端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. バッテリーの㊀端子を外します。
3. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
4. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリー電源コード(赤)の順に接続します。
6. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7. 取り付け終了後に、バッテリーの㊀端子を接続します。
8. 電源をオンします。
9. 本機の**リセットボタン(P.6)**を押します。

※使用するUSBケーブルには、CA-U1EX(別売品)をお薦めします。

2 スピーカー時のスピーカー接続方法

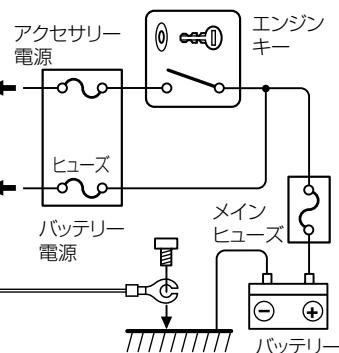
注意
接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

注意
- スピーカーコードの㊉㊀端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの㊀端子を共通にして接続しないでください。

こんなときは

MEMO

・プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、**P.29**の“SWITCH PRE”を“SUB-W”に設定してください。

注意

ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、**P.25**の“NAV GUIDE”を“OFF”に設定してください。

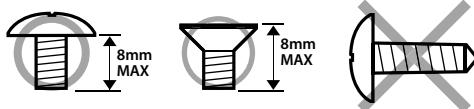
注意

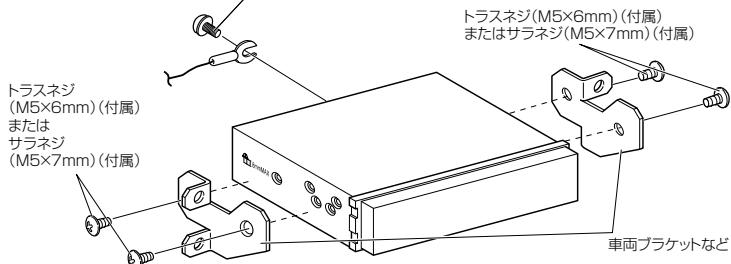
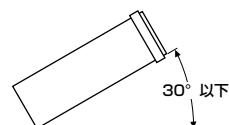
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。
使用するのは、付属のトラスネジ（M5×6mm）またはサラネジ（M5×7mm）を4本です。

MEMO

・別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

● **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。
また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

■本機に付属しているネジ

トラスネジ（M5×6 mm）　×4
サラネジ（M5×7 mm）×4
セムスネジ（M4×8 mm）×1

● **本機の取り付け角度は30˚以下になるように取り付けてください。30˚以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
● **操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。**

仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）：
76.0 MHz ～ 90.0 MHz（100 kHz）
実用感度（S/N：26 dB）：
11.2 dBf（1 μV/75 Ω）
DIN S/N 46 dB感度：
19.2 dBf（2.5 μV/75 Ω）
周波数特性（±3.0 dB）：30 Hz ～ 15 kHz
S/N比：63 dB（MONO）
ステレオセパレーション：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz ～ 1629 kHz（9 kHz）
感度　：31 dBμ（36 μV）

CDプレーヤー部

レーザーダイオード：GaAlAs
デジタルフィルター（D/A）：
8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター：24 Bit
回転数：500 ～ 200 rpm（線速度一定）
ワウ& フラッター：測定限界以下
周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz(±1 dB)
高調波歪み率：0.01 %(1 kHz)
S/N比：105 dB（1 kHz）
ダイナミックレンジ：90 dB
MP3デコード：
MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：
Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード：
AAC-LC“.m4a”ファイル

USB I/F部

USB規格：USB 1.1/2.0（Full speed対応）
ファイルシステム：FAT16/32
最大供給電流：500 mA
MP3デコード：
MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード：
Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード：
AAC-LC形式“.m4a”ファイル

オーディオ部

最大出力：50 W × 4
定格出力：
30 W × 4（4Ω,1kHz, 10%THD以下）
スピーカーインピーダンス：4 ～ 8 Ω
オーディオコントロール：

バス	100 Hz ± 8 dB
ミドル	1 kHz ± 8 dB
トレブル	10 kHz ± 8 dB

プリアウトレベル（CD）：
2000 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス：
600 Ω以下

AUX入力

周波数特性：20 Hz ～ 20 kHz（±3 dB）
入力最大電圧：1200 mV
入力インピーダンス：10 kΩ

電源部

電源電圧：14.4 V（11 ～ 16 V）
最大消費電流：10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）：
178 mm × 50 mm × 158 mm
重量　：1.1 kg

付属部品

電源ハーネス：1本
トラスネジ(M5 × 6 mm)：4本
サラネジ(M5 × 7 mm)：4本
セムスネジ(M4 × 8 mm)：1本

MEMO

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

● **保証書**

この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

お買上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.30)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。「ケンウッド全国サービス網」(P.39)をご参照ください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は...**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は...**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）**

- **技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。**
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：修理に使用した部品代です。**
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、お買上げの販売店またはお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〠004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎(011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〠984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎(022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〠331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	〠277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎(04) 7171-3800
横浜サービスセンター	〠226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスセンター	〠950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎(025) 245-2177
大田サービスセンター	〠146-0082	大田区池上2-8-10　プラムビル1F	
(修理持込専用窓口)	電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。		

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〠481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〠420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	〠921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎(076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〠532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	〠761-8057	高松市田村町205-1	☎(087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〠730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎(082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〠812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〠891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎(099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〠901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎(098) 898-3631

■サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00 ～ 18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます。）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル	0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
	携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960
FAX	045-450-2287
住所	〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間	月曜～金曜　　9:30 ～ 18:00
	土曜　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
	（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
  弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
  http://jp.my-kenwood.com